



■ご寄付ありがとうございました

10月4日、佐渡市トキ環境整備基金への寄附金贈呈式が行われ、生活協同組合連合会コープネット事業連合様から、240万円のご寄付をいただきました。これは、2010年から実施している「CO-OP新潟佐渡コシヒカリ」を対象に販売したお米1kgにつき1円を寄付していただく取り組みによるものです。

いただきましたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。ありがとうございました。



■第11回目のトキ放鳥が行われました

9月26日から第11回目のトキ放鳥が行われ、新たに18羽のトキが佐渡の上空に飛ばれていきました。

順化ケージから飛翔したトキは、普段トキが見られない場所で行動することもあります。もし、トキを見かけたら、トキ交流会館（フリーダ

イヤル0120-980-551）

へお気軽に情報をお寄せください。市民の皆さまからいただいた情報が重要なデータとなりますので、ご協力をお願いします。

トキを見かけたら次の点に注意し、やさしく静かに見守りましょう。

- ① トキに近づかない
- ② 車内から観察する
- ③ 大きな音や光を出さない

※特にねぐらや巣のある林には近づかないようにしましょう

（トキ観察ルールガイド抜粋）
◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館内）

☎24-6040

飼育下	203羽
佐渡トキ保護センター	95羽
トキ野生復帰ステーション	33羽
トキふれあいプラザ	5羽
多摩動物公園	16羽
いしかわ動物園	20羽
出雲市トキ分散飼育センター	17羽
長岡市トキ分散飼育センター	17羽
自然下	149羽
佐渡市内	147羽
佐渡市外（村上市・石川県）	2羽
合計(平成26年10月23日現在)	352羽

ジオパーク全国大会中に御嶽山噴火

長野県と岐阜県にまたがる御嶽山（3067m）が、9月27日午前11時52分頃に噴火しました。実は、この日、御嶽山から30km離れた長野県伊那市で「日本ジオパーク全国大会in南アルプス大会」が開催されました。大会には、佐渡ジオパークをはじめ、全国でジオパークの推進に携わっている述べ6千人を超える関係者が参加しました。その中には、地質学者や火山学者などもいます。

とで、噴火の規模や、今後噴火がどのように推移するのか調べる手がかりとなるのです。なお、この時採取された火山灰は、佐渡博物館で展示しています。ぜひ一度ご覧ください。



車に積もった御嶽山の火山灰

噴火の現場へ急行しました。目的は、火山灰の調査です。噴火した直後の山頂付近は、さらなる被害の防止と救助活動などのため入山が規制されたり、道路などに積もった火山灰の撤去作業が始まりました。時間が経つほど、調査に必要な純粋に積もった新鮮な火山灰の採取が困難になります。火山学者たちは、噴火から6時間後と比較的早い段階で火山灰の採取や、被害に遭った方への聞き取り調査などを行いました。調査の結果、今回の噴火は、マグマが上昇したのではなく、水蒸気爆発であることがわかりました。このように、火山灰の分布や性質を調べるこ

ジオパークは、大地・地球と人との関わりを学ぶ場でもあります。日本には、いつ噴火が起きてもおかしくない「活火山」が110あり、地球上の火山の3分の1が日本にあるのです。このような火山大国に暮らしている私たちは、ジオパークを通して、恵みをもたらす一方で災害も引き起こす大地とどのように共生していくか、考え続けていく必要があります。海に囲まれた島に暮らす私たちは、島の成り立ちから意識する必要があります。戦後最悪の被害となった御嶽山の噴火から学んだ教訓を共有し、今後の災害に備えなければなりません。

◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(佐渡博物館内)
☎52-2447